

中学歴史プリント（過去問類似）

人類の出現と文明

名前

得点

/8

問1 アフリカ大陸を北に向かって流れ、その流域において象形文字の使用やピラミッドの建設など、高度な文化を持つ古代文明が成立した河川の名称として正しいものを選んでください。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. ナイル川 2. メコン川 3. ユーフラテス川 4. ラブラタ川

問2 ムハンマドがメッカでイスラム教の布教を始めた当初、現地の富裕層や権力者から激しい迫害を受けた理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから 2. 王を神の化身として崇拝することを強制したから 3. 特定の身分の人だけが救われるという教義だったから 4. 偶像崇拝を強く推奨し、古い寺院を壊したから

問3 南アメリカのアンデス山脈付近に位置する世界遺産の遺構「マチュピチュ」を築いた文明について、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。 2. 強大な騎馬軍団による機動力を活かしてユーラシア大陸にまたがる史上最大の帝国を築いた。 3. インド亜大陸においてイスラム文化とインド固有の文化を融合させ、タージ・マハルを建立した。 4. 地中海東岸を拠点に海上交易で活躍し、のちのアルファベットの原型となる文字を考案した。

問4 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。 2. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。 3. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。 4. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。

問5 日本の旧石器時代における人々の生活様式や文化の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。 2. 表面に縄目の文様がある土器を使い、貝塚を作るなど同じ場所に長期間定住して生活していた。 3. 大陸から伝わった稲作を行い、収穫した米を蓄えるための高床倉庫や大規模な環濠集落を築いた。 4. 青銅器や鉄器などの金属器を使い始め、身分による貧富の差が生まれ、小国が乱立するようになった。

問6 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。 2. 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。 3. 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。 4. 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。

問7 中国文明の初期の王朝である殷（いん）では、政治や軍事に関する重要な事柄を決定する際、ある特別な方法が用いられていました。その方法と、それに関連して生まれた文化的な特徴について説明したものとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 石碑に刻まれたハンムラビ法典に基づき、厳格な裁判によって国家の秩序を維持した。 2. 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。 3. パピルスと呼ばれる草の茎から作られた紙に、象形文字を用いて王の業績を詳しく記録した。 4. インダス文字を用いた印章を使い、農産物や家畜の取引内容を正確に管理することで経済を安定させた。

問8 西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で発達し、現在のイラク付近に位置した古代文明において、粘土板に刻んで使われていた文字と、月の満ち欠けに基づいた暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. くさび形文字と太陰暦 2. くさび形文字と太陽暦 3. 象形文字と太陰暦 4. 象形文字と太陽暦

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ナイル川	エジプト文明は、世界最長級の河川であるナイル川の流域で発達しました。選択肢のうち、メコン川は東南アジア、ユーフラテス川は西アジアのメソポタミア文明、ラブラタ川は南アメリカ大陸を流れる河川です。
問2	答え 1 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから	イスラム教は、神の前での平等を説き、貧しい人々への施しを重視しました。この教えは、商業によって利益を独占し、身分格差を維持しようとしていたメッカの富裕層にとって、既存の社会秩序を脅かす危険な思想とみなされたため、厳しい弾圧を受けることになりました。
問3	答え 1 カミソリの刃も通さないほど精巧な石造建築物を築き、山岳地帯に広大な道路網を整備した。	インカ帝国は、高地という厳しい自然環境に適応し、山々の斜面に段々畑を作ったり、石を精密に加工して宮殿や神殿を建設したりしました。この高度な石造技術は、現代の建築家も驚くほどの精度を誇ります。他の選択肢はそれぞれモンゴル帝国、ムガル帝国、フェニキアに関する説明です。
問4	答え 1 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。	メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。
問5	答え 1 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。	旧石器時代はまだ土器が発明されておらず、人々はマンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩るために、移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、縄文時代のような定住性の高い竪穴住居ではなく、移動に適した仮住まいを利用していたと考えられています。他の選択肢は、縄文時代（土器・定住）、弥生時代（稲作・金属器・国）の特徴です。
問6	答え 1 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問7	答え 2 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。	古代の中国文明では、王が政治や祭祀を司る際、神の意志を確認するための占いが非常に重視されていました。この占いの結果を記録するために使われたのが甲骨文字です。このように、宗教的な儀式と政治が一体となった統治が行われていたことが、中国文明の大きな特徴の一つです。
問8	答え 1 くさび形文字と太陰暦	西アジアの「肥沃な三日月地帯」で成立したメソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川という2本の河川の恩恵を受けて発展しました。この文明では、乾燥させた粘土板に葦の莖などで刻む「くさび形文字」が発明され、記録や商取引に利用されました。また、天体観測により月の満ち欠けを基準とする「太陰暦」が作られ、これが後の暦の基礎となりました。ナイル川流域のエジプト文明（象形文字・太陽暦）と知識が混同されやすいため、河川の名前と文化の特徴をセットで整理することが重要です。